

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地				
専門学校西鉄国際ビジネスカレッジ		平成6年3月23日		椎葉小夜子		〒 810-0014 (住所) 福岡県福岡市中央区平尾1-13-32 (電話) 092-522-3135				
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地				
学校法人西鉄学園		昭和37年2月27日		部谷 由二		〒 816-0922 (住所) 福岡県大野城市山田3-12-1 (電話) 092-586-2480				
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度		高度専門士認定年度		職業実践専門課程認定年度	
商業実務	商業実務専門課程		ホテル・ブライダル科		平成 7(1995)年度		-		平成26(2014)年度	
学科の目的		業界で働く覚悟、国際的なマナーとホスピタリティを身につけ、長年に渡って活躍できる人材を育成する。 ホテルや日本旅館の宿泊関係業務、料飲関係業務、ブライダルに関する知識や技術を学び、即戦力として活躍できる人材を目指す。								
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)		ホテル実務技能認定試験、レストランサービス技能検定、ブライダルコーディネーター検定などの検定が取得可能。演習と講義、実習などバランスよく学べる学科。								
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数			講義	演習	実習	実験	実技	
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入		単位時間	単位時間	単位時間	〇〇 単位時間	単位時間	〇〇 単位時間	
		123 単位		44 単位	82 単位	12 単位	0 単位	0 単位		
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留学生割合(B/A)		中退率			
90 人	56 人		1 人		0 %		0 %			
就職等の状況	■卒業者数(C)		:		36 人					
	■就職希望者数(D)		:		33 人					
	■就職者数(E)		:		33 人					
	■地元就職者数(F)		:		22 人					
	■就職率(E/D)		:		100 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		:		67 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		:		92 %					
	■進学者数		:		0 人					
	■その他		:							
	(令和 6 年度卒業者に関する令和7年5月1日時点の情報)									
■主な就職先、業界等										
						株式会社森ビルホスピタリティコーポレーション、株式会社ニュー・オータニ、株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド、株式会社ホークスタウン等				
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価:					0				
	※有の場合、例えば以下について任意記載									
当該学科のホームページURL		https://www.ibc.ac.jp/courses/hotel-bridal.html								
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)									
	総授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した演習の授業時数					単位時間				
	うち必修授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数					単位時間				
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数					単位時間				
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)					単位時間				
	(B: 単位数による算定)									
	総単位数					123 単位				
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数					19 単位					
うち企業等と連携した演習の単位数					57 単位					
うち必修単位数					4 単位					
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数					8 単位					
うち企業等と連携した必修の演習の単位数					4 単位					
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)					8 単位					
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者(専修学校設置基準第41条第1項第1号)					1 人				
	② 学士の学位を有する者等(専修学校設置基準第41条第1項第2号)					2 人				
	③ 高等学校教諭等経験者(専修学校設置基準第41条第1項第3号)					0 人				
	④ 修士の学位又は専門職学位(専修学校設置基準第41条第1項第4号)					0 人				
	⑤ その他(専修学校設置基準第41条第1項第5号)					0 人				
	計					3 人				
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数					3 人				

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針  
教育の質の保証及び改善をするため、教育活動の状況に関する評価を行い、業界の要請を十分にいかしつつ実践的かつ専門的な職業教育を主体的に実施する。  
即戦力となれるよう企業実習、業界見学を通し実際の企業等の求める接客を学び実践力としての技術を身につける。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け  
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記  
校務運営規程に基づき科毎に科会を設け、学科長を置き教育の質の保証・改善のために担当科の教育課程編成委員会へ参加し、教育課程編成委員会での審議を各科で検討を行い学内会議を経て採用される。  
・校務運営規程第6章 教育課程編成委員会第11条  
・校務運営規程第8章 校務分掌第14条

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和6年10月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
浜本 研三郎	株式会社JALスカイ九州	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
尾沼 雄一	株式会社JALグランドサービス九州	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
有隅 基樹	JR九州サービスサポート株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	③
伊賀上 恵子	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
渡邊 洋二	公益財団法人産業雇用安定センター	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	①
田中 友加利	教務部長(兼鉄道科学科長)	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
牟田口 真理子	学科長(国際ホテルマネジメント科)	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
長野 美穂	学科長(ホテル・ブライダル科)	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
原田 歩	学科長(エアライン科)	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	—
池田 香織	学科長(国際ビジネス科)	令和7年4月1日～令和7年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(6月、10月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年6月7日 10:00～12:00

第2回 令和6年9月6日 10:00～12:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

意見:内定プレートの男子が青、女子がピンクの色分けが時代にそぐわない

活用:色を統一

意見:自動チェックイン機など時代に合った授業が必要

活用:教員の現場研修を取り入れていく

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

学校教育に理解があり、後継者育成の一環として実務の経験ができる場を積極的に提供し、学習成果の評価を行う体制をとることが可能な企業を選定している。また、学校が教育している知識や技術等の習得が可能でかつ後継者の育成に力をそそぐ企業への新規開拓も実施している。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

実習の実施前に打ち合わせを行い実習内容詳細について決定する。実習期間中、担任が各企業を訪問し、学生の学習状況について直接確認するとともに、実習担当者と情報交換を行う。

実習終了時には、実習担当者による学生の学習成果の評価をふまえ、担任が単位認定を行う。

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
企業実習1～4	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	全国のホテル・旅館にて1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	富士屋ホテル ハイアットセントリック金沢 ルネッサンスリゾートオキナワ 他
企業実習5～8	3. 【校外】企業内実習 (4に該当するものを除く。)	全国のホテル・旅館にて1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	株式会社京王プラザホテル 京都ブライトンホテル株式会社 株式会社 ホークスタウン 他
ホテルブライダル業界研究	2. 【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	業界人をお招きし、現場で求められる人材像や専門学校生に期待する役割などについて講演していただく。	株式会社ホークスタウン、ザ・リッツカールトン福岡 他
ブライダルセールス	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	ブライダルプランナーの仕事内容や実務を、現役プランナーから教わる。	有限会社セレーノ・コーポレーション
ソムリエ&バーテンダー	1. 【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	現役のソムリエから実際に役立つレストラン・バー業務を教わる。	有限会社セレーノ・コーポレーション

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

教職員規定 第1章及び第2章

研修計画(教職員研修規程 第2章 第6条による)

(1)学校及び部室主催の研修 年1回以上

(2)関係団体や業者が主催する研修 不定期年1回以上

(3)校長により承認された業界実習や通信教育等の自己啓発研修 適宜

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: 観光地経営リーダー育成プログラム

連携企業等: 九州産業大学

期間: 2024/8/31～2024/11/9

対象: 教職員

内容: 「持続可能な観光の発展を牽引する観光地経営人材の育成」を目的としたリカレント教育プログラムへの参加

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 中堅教職員研修「リスクマネジメント(事故後の緊急対応)」

連携企業等: 日本経営危機管理協会

期間: 2025/2/4～2025/2/4

対象: 教職員

内容: これまでに起きてしまった事故や事件の事後対応を題材とした、事故対応についての研修への参加

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名: グローバルホスピタリティ&ツーリズムリサーチサミット  
福岡

連携企業等: 九州産業大学

期間: 2025/5/15～2025/5/18

対象: 教職員

内容: 観光業界に関わる国際学会において、各講演の聴講、論文の作成と発表、他の参加者との意見交換を行う

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名: 就職セミナー

連携企業等: ㈱ホテルオークラ福岡 等

期間: 2026/1/15～2025/1/16

対象: 教職員

内容: 就職面接時における企業側の視点を知り、今後の指導についてのアドバイスを頂く

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

職業教育を通して人間性を高め、自ら道を切り拓き、多様化する社会に貢献できる人材を育成することを教育理念とし、教育の質の保証・社会に対する説明責任と学校評価を通じガバナンス改善に向けた取組を促進していくことを目的とする。自己評価結果の客観性・透明性を高め、学校と密接に関係する者の理解促進や教育活動・学校運営に活用する。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	・理念、教育方針 ・目標 ・育成人材像
(2)学校運営	・運営方針 ・事業計画 ・組織運営 ・人事、給与制度 ・意思決定システム ・情報のシステム化
(3)教育活動	・教育課程の編成方針、実施方針 ・教育課程 ・キャリア教育 ・授業評価・成績評価 ・修了認定基準 ・資格の位置づけ ・教員研修 ・組織体制
(4)学修成果	・就職率 ・資格の取得率 ・卒業生の社会的評価
(5)学生支援	・就職等進路に関する支援組織体制 ・退学率等の低減 ・学生相談・経済的支援体制 ・健康管理 ・課外活動 ・保護者、卒業生との連携体制
(6)教育環境	・施設、設備、教育用具等 ・実習、海外研修等 ・防災組織体制 ・安全管理体制
(7)学生の受入れ募集	・学生募集 ・入学選考基準 ・学納金
(8)財務	・収支状況
(9)法令等の遵守	・法令に基づく学校運営 ・個人情報保護 ・自己評価 ・学校関係者評価 ・情報公開
(10)社会貢献・地域貢献	・社会貢献、地域貢献の実施 ・ボランティア活動の奨励と支援
(11)国際交流	・国際交流の取り組み

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会を年間2回開催し、当該意見を教育活動その他の学校運営の改善等に活用する。意見・質問：地域との関わりについての活動状況 活用：学校周辺地域への迷惑行為の防止を兼ねて職員が積極的に関わっている。意見・質問：収支状況が現在の公表方法では改善されているかが不明 活用：前年度と比較が出来るように対処した。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
江里口 愛	THE BASICS FUKUOKA	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
山本 周史	株式会社西鉄ホテルズ	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
水城 弘幸	西鉄旅行株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
浜本 研三郎	株式会社JALスカイ九州	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
尾沼 雄一	株式会社JALグランドサービス九州	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
有隅 基樹	JR九州サービスサポート株式会社	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	企業等委員
伊賀上 恵子	公益財団法人福岡観光コンベンションビューロー	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地方団体等委員
渡邊 洋二	公益財団法人産業雇用安定センター	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	地方団体等委員
平野 孝幸	一般財団法人福岡県学校安全振興会	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	校長経験者
松藤 大助	日本郵便株式会社 竹下郵便局	令和5年4月1日～令和7年3月31日(2年)	卒業生

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他( ))

URL: <https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo.html>

公表時期: 令和7年11月1日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

本校の情報をホームページ等において開示し、企業の関係者等に職業人を育成する本校の教育内容について理解を求め、企業関係者と連携を図り業界のニーズを踏まえた授業内容や方法の改善につなげたい。企業等の学校関係者との連携をし、教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を、具体的に分かりやすく、提供するものとする。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・建学の精神 ・教育方針 ・校長名、所在地、連絡先等 ・学校の沿革
(2) 各学科等の教育	・収容定員、在学学生数 ・カリキュラム、年間授業スケジュール ・資格
(3) 教職員	・教員の担当科目、担当学年
(4) キャリア教育・実践的職業教育	・キャリア教育 ・企業実習 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事 ・課外活動(部活動等)
(6) 学生の生活支援	・学生支援(健康診断、学生相談等)
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金 ・経済的支援措置(奨学金、授業料減免等)
(8) 学校の財務	・収支状況
(9) 学校評価	・自己点検、評価、学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	・海外実習 ・外国の学校等との交流 ・外国人留学生
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

ホームページ ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(募集要項))

URL: <https://www.ibc.ac.jp/about/schoolinfo.html>

公表時期: 令和7年11月1日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程　ホテル・ブライダル科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・ 学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企 業 等 と の 連 携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			レストラン＆ パンケット サービス	レストランの業務内容を理解し基本的な サービス技術を身に付ける	1 通	60	4	△	○		○		○		
2	○			ソムリエ＆ バーテンダー	バー、ラウンジでの業務を理解、酒類の専 門知識の習得	1 通	60	4	△	○		○			○	
3	○			フロントサー ビス	宿泊部門の基本的な業務を理解し、サービ ス方法の手順を実務知識として習得する	1 前	30	2	○	△		○			○	
4	○			コンシェル ジュ	フロントサービスの基礎を理解し、サービ ス方法の手順を実務知識として習得する	1 後	30	2	○			○			○	
5	○			ホテル総論	ホテル実務技能認定試験の合格を目指す とともに、ホテルの各部署の役割を理解する	1 通	60	4	○			○		○		
6	○			ホテル英会話	ホテルスタッフとして必要な英語力を身に 付ける	1 通 2 通	120	8		○		○			○	
7	○			TOEIC/英検対 策Ⅰ・Ⅱ	実用英語能力検定の合格又はTOEICの高得 点取得を目指す	1 通	##	8		○		○		○	○	
8	○			ビジネスマ ナー	社会人として必要な心構えとマナーを習得 する。	1 前	30	2		○		○		○	○	
9	○			和のサービス	旬の食材や季節の行事、日本料理の特徴な どを詳しく学ぶ。	1 前	30	2	○			○		○		
10	○			ブライダル総 論	ブライダル業界の成り立ちや婚礼の流れ、 専門用語を理解する	1 前	30	2	○			○			○	
11	○			ホテル・ブラ イダル業界研 究	ホスピタリティ産業の現場で活躍される方 の講話を聴き、職業意識を高める	1 前	30	2	○			○			○	○
12	○			就職活動講座	就職活動の流れを知り、自己分析を行い、 就職できる力をつける また、就職面接試験に対応する力を身につ ける	1 通 2 前	90	6		○		○		○	○	
13	○			SPI言語対 策	就職試験における筆記試験に合格できる力 を習得する	1 後 2 前	60	4	○			○			○	
14	○			SPI非言語 対策	就職試験における筆記試験に合格できる力 を習得する	1 後 2 前	60	4	○			○			○	
15	○			コミュニケー ションインギ ングリッシュ	基礎的な英文法を理解し、英語で日常的な コミュニケーションが取れるようになるこ とを目指す	2 通	60	4	△	○		○			○	

16	○		ペン字	演習により、美しい文字を習得する	1 前	30	2		○		○			○	
17	○		コンピ ュー ター	Excel及びWord、Powerpointの基本操作を習得する	1 通	60	4		○		○			○	
18	○		面接対策	就職試験における面接試験に合格できる力を習得する	1 後 2 前	60	4	△	○		○			○	
19	○		ユニバーサル サービス	お手伝いを必要とされるお客様の対応について理解を深めると共に、具体的な接客方法を身につけ	2 後	30	2	○	△		○			○	
20	○		ブライダル セールス	ブライダルセールスについての基礎知識及び専門知識を説明・紹介する。	1 通	60	4	○	△		○			○	
21	○		フロントオ フィス	予約業務等フロントオフィスの基本的な知識を習得するとともに、ホテル全体の流れを理解する。	2 通	60	4	○			○			○	
22	○		ブライダル演 習	写真のレイアウト等も含めブライダルフェア用のポスターを作成する。	1 後	30	2	△	○		○			○	
23	○		セレモニーブ ロデュース Ⅰ・Ⅱ	学生による結婚披露宴の企画実施を行う	2 前	60	4		○		○		○		○
24	○		手話	手話を通じてノンバーバルコミュニケーションを学ぶ。	2 後	30	2		○		○			○	
25	○		プレゼンテー ション	社会において役立つプレゼン能力を磨く。	2 後	30	2	△	○		○			○	
26	○		観光産業概論	観光業界の成り立ちや将来像を知ることにより業界の全体像を理解する。	2 後	30	2	○			○		○		
27	○		HRS対策（筆 記）	レストランにおけるサービス方法、事故対処方法を習得し、レストランサービス技能検定3級合格を目指す	2 前	30	2	○			○		○		
28	○		HRS対策（実 技）	レストランにおけるサービス方法、事故対処方法を習得し、レストランサービス技能検定3級合格を目指す	2 前	30	2		○		○		○		
29	○		L H R	学校生活における調和と自己啓発を図る	1 通 2 通	##	8		○		○		○		
30	○		社会情勢研究	世の中の流れに興味を持ち、理解し、自分の意見を交えて伝えられるようになることを目指す	2 後	30	2	○			○			○	
31	○		フレッシュャ ーズ教育	社会人になる前の心構えや準備を行う。課題解決できる力を身に付ける。	2 後	30	2	○			○		○	○	○
32	○		Web広報戦略	広告についての知識を知り、動画を使ったCM作成を行う。	2 通	60	4		○		○			○	
33	○		第2外国語	中国語・韓国語・フランス語から選択し、それぞれの国の日常会話や文化を学ぶ	2 通	60	4		○		○			○	



34	○		HRS筆記セミナー	ホテルレストランサービス技能検定一次筆記試験の対策を行い合格を目指す	2後	15	1		○		○	○		
35	○		研修旅行	旅行を通じて国際感覚と業界への理解、クラスの親睦を深める	1後	30	1		○		○	○		○
36	○		行事Ⅰ	行事によって調和と自己啓発を図る 新生オリエンテーション1・2・3/スポーツ大会/業界見学	1前	30	1	△	△	○	△	○	○	○
37	○		行事Ⅱ	行事によって調和と自己啓発を図る 業界見学/着こなし・ビューティレッスン/研究発表会/就職強化セミナー1・2	1後	30	1	△	△	○	△	○	○	○
38	○		行事Ⅲ	行事によって調和と自己啓発を図る 2年次オリエンテーション/ボウリング大会/スポーツ大会/研究発表会/若年者啓発講座	2後	30	1	△	△	○	△	○	○	○
39	○		企業実習1～4	全国のホテル・旅館にて1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	1後	##	4			○		○	○	○
40		○	企業実習5～8	全国のホテル・旅館にて1週間の現場での実習を行い、サービススキルを習得し業界への理解を深める	1後 2前	##	4			○		○	○	○
41		○	英語面接対策	英語面接を控えた学生対象に演習を行う。	1後 2前	15	1	○	△		○			○
42		○	TOEIC	TOEICの高得点取得を目指す。	2前	30	2	○	△		○			○
43		○	冬季セミナーⅠ・Ⅱ	就職活動に備えた書類作成や面接練習を行う。	2前	30	2		○		○		○	
44		○	サービス介助士2級講習	サービス介助士2級試験合格のため知識と実技を習得する	2前	15	1	△	○		○			○
45		○	着付け演習	半幅帯、名古屋帯の時装、他装ができるようになる。	2後	15	1		○		○		○	
46		○	ブライダルコーディネーター検定対策	ブライダルコーディネーター検定の合格を目指す	2後	15	1	○	△		○		○	
47		○	HRS実技セミナー	HRS筆記試験合格者に対し2次試験である実技試験の合格を目指す。	2後	15	1	△	○		○		○	
48		○	メートル・ド・テル	レストランサービスにおける上級テクニックを身に付ける。	2後	15	1		○		○		○	
49		○	卒業論文	講師の指導の下、関心のあるテーマについて卒業論文作成を行う。	2後	15	1		○		○		○	
合計					39 科目			123 単位（単位時間）						

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：1700単位時間（110単位）以上の授業を履修し単位認定をされること		1学年の学期区分	2期
履修方法：カリキュラムの必修授業の履修及び選択必修授業の中から履修する。		1学期の授業期間	15週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。

ホテル・ブライダル科 教職員一覧

教職員名	主な担当科目
小西 翼	フロントサービス
橋口 淳二	ホテルブライダル業界研究
原田 歩	ユニバーサルサービス
友納 真	観光産業概論
田中 友加利	面接対策
池田 香織	プレゼンテーション
田中 君枝	ブライダル総論
財津 克宜	コンピュータ
麻生 亮	レストランバンケットサービス
水田 勇太	ソムリエ & バーテンダー
中牟田 登喜枝	フロントオフィス
安部 紀美枝	就職活動講座
西村 隆仁	ブライダルセールス
新垣 佐世	ペン字
久保田 博子	オンライン英会話
乙咩 清美	Web広告戦略
山本 真美	SPI言語対策
榎木田 裕夫	SPI非言語対策
江口 由香	手話
前田 恭子	社会情勢研究
日高 郁子	ホテル英会話
挽田 雅子	TOEIC
平島 千華	英検対策
加藤 亜希	英検対策
脇谷 奈々	英検対策
猪口 明日香	英検対策
権 京愛	韓国語
青山 祐子	中国語
アルティカ・ルカ・ジョアン	フランス語